

経営体の概要

- 所在地：沖縄県南城市
- 経営体名：株式会社美ライチゴ
- 栽培作物・作付面積：いちご・約 1 ha
- 従業員数：20名（令和4年3月現在）

導入技術

- AIによる収量予測、病害虫検知 ((株)オプティムと連携)
((株)美ライチゴでいちごの状況を定期的に写真、動画撮影し、(株)オプティムでAIを活用し、収量予測、病害虫を検知。)



いちご栽培の様子



写真、動画撮影機器



撮影画像の確認

導入経緯

- 現在、いちごの施設栽培を行っており、品種は、よつぼし、かおり野、恋みのりがある。令和元年度の生産量は約23トン。店舗にて、生果、ドリンク類、スムージー等の販売、ほ場にていちご狩りが行える。
- いちご生産において、安定した販売を行うに当たり、収量予測が課題。
- また、炭疽病、うどんこ病、ハダニ等の病害虫対策が課題。
- このため、安定生産を目指し、(株)オプティム (IT関係企業) と共同で、2018年からAIによる収量予測、病害虫検知の開発・実証を開始。

取組の特徴・効果

- (株)美ライチゴにおいて、いちごの状況を定期的に写真、動画撮影し、(株)オプティムにおいてAIを活用し、着果数から収量予測、画像から病害虫を検知。
- 現在、実が葉に隠れていたり、光の反射で画像から病害虫が検知できなかったりして、収量予測、病害虫発生が実際とは異なった結果となっている。
- 今後、実証の状況を分析し、精度の向上に向けて開発を行う予定。



収穫したいちご